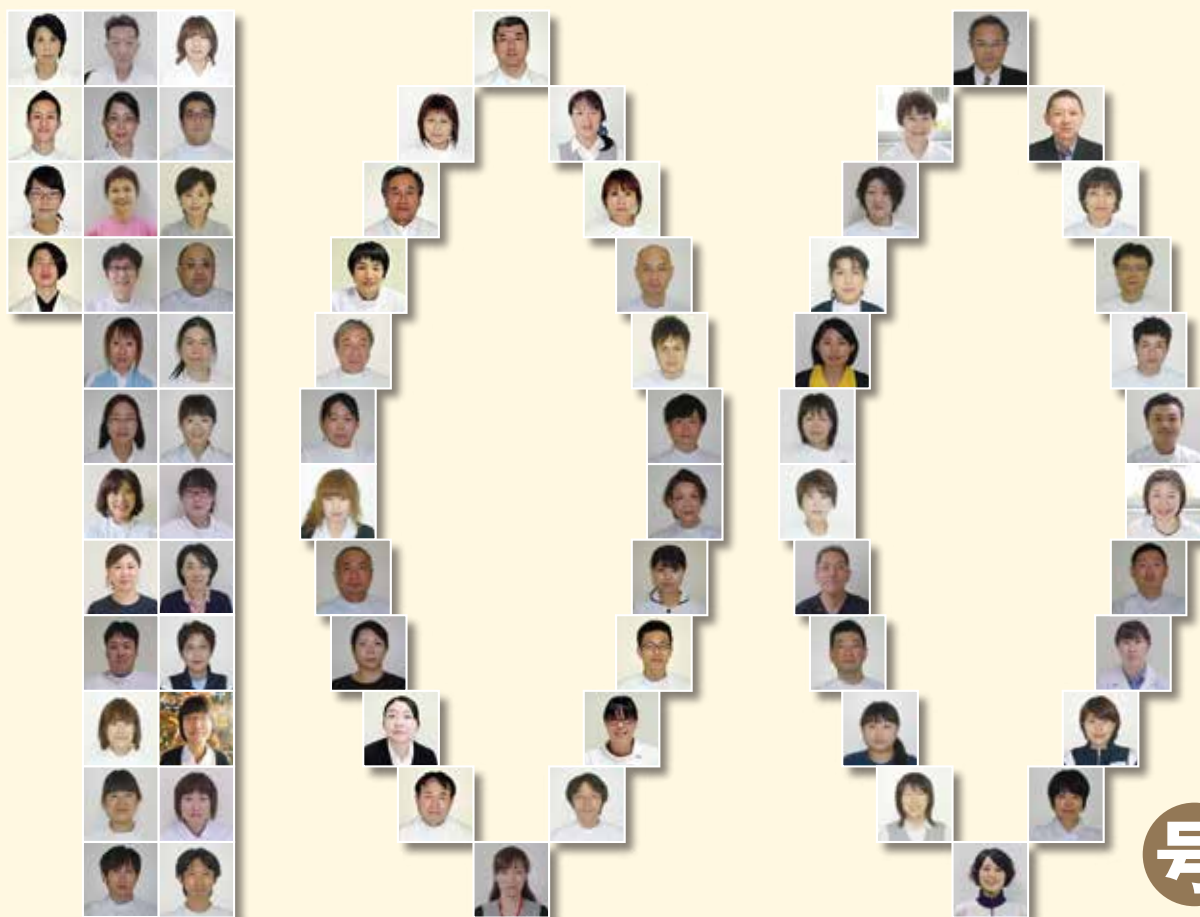




リニューアルライフすこやか
100号発刊記念特別号



号

福井県立すこやかシルバー病院広報誌「リニューアルライフすこやか」は、皆様のおかげをもちまして100号を発刊することができました。本号では、各部署の紹介をさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ①良質な医療を平等に受ける権利
- ②選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④十分な説明を受ける権利
- ⑤個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥個人の尊厳を守る権利
- ⑦通信・面会を自由に行う権利

INDEX

表紙 100号！

P2 家族は今
「大病を克服した後に 認知症…」

P3～P8

部署紹介

医局・外来・放射線
検査・心理・薬局
看護部・東病棟・西病棟
栄養・デイケア
作業療法室・地域連携室
事務部・介護教育室

P8 令和2年度研修案内
(一般、専門職)

家族は今

大病を克服した後に 認知症…

M・Y



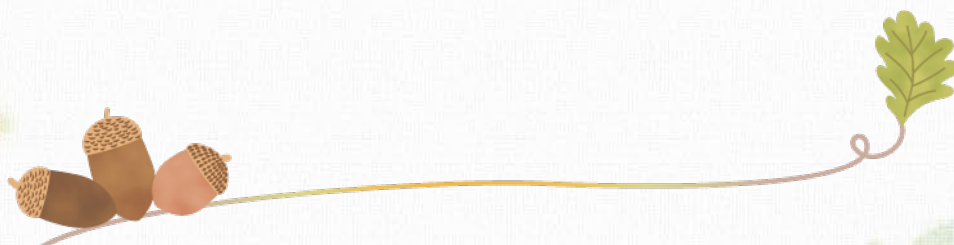
夫が膵臓癌の手術をしたのは6年前。家族旅行が出来る迄に回復しました。同年母が亡くなり、様々な手続き時に自分の名前は書けたのですが住所が書けなくなっていました。この頃から趣味の日本画も全く描こうとせず散歩が日課となりました。

認知症と診断されたのが2年後、夫69歳の時でした。その2年後、ケアマネージャーさんの勧めもありデイサービスに通い始めましたが、ささいな事で怒る様になり幻視も出て、新たに村田先生の診察を受け、レビー小体型認知症と診断されました。

今は入院して幻視もなくなり元の穏やかな性格に戻ってくれて家族皆ほっとしています。6月から出来る様になった面会時には、まだ昼夜逆転の様子ではがゆい面もありますが徐々に改善していくとお聞きしています。

こちらの病院のお世話になり私達家族皆、安心してお任せ出来て夫同様穏やかな日々を過ごさせて頂き感謝しております。ありがとうございます。

元気だった頃は家族の為に一生懸命頑張ってくれた夫に感謝しつつ、これからも家族皆で出来る限りの事をしようと話し合っています。



医局



福井県立すこやかシルバー病院院長の村田です。私から、当院医局の紹介をさせていただきます。

医局とは、医師が所属している部署のことを指す言葉で、医師は診療部に所属していますが、その中の医師だけの集まりを医局と称しています。現在の当院の医局には、伊藤前院長、私、今年5月から赴任してきた幅田先生の3人が所属しています。

この4月までの数年間私と伊藤前院長の二人体制でやってきましたが、今年度福井大学精神科から医師を派遣していただけることになり、3人体制となりました。これにより、外来・入院診療の充実が図れることになり、より良い医療が提供できるものと考えています。



外来



当院外来では、診察に来られた患者様が安心してスムーズに検査などを受けられるよう援助しています。

また、患者様の介護者である家族をサポートできるよう相談に応じています。地域の方々と接する場面が多い部署でもあるので、病院の顔として頑張っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。



放射線



放射線検査においては、レントゲン撮影、CT検査、ガンマカメラによる脳血流検査を行います。それらは当院の専門分野である認知症診断において必要な検査です。

特に脳血流検査は、認知症の総合的な診断をするうえで重要な検査のひとつです。高齢化が進んでいく中、ますます必要な検査になっていきます。コミュニケーションを第一に検査を行っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

検査室（臨床検査）



写真①脳波検査、写真②血液検査、
写真③心電図検査

身体検査では、認知症に対する検査とともに、身体の病気が影響していないか鑑別診断のため、以下の検査が行われています。

- 血液・尿検査—血液や尿の成分を分析し、生活習慣病の予測や、貧血などの血液疾患や、肝臓・心臓・腎臓などの内臓の機能を調べます。
- 心電図検査—心臓が一定のリズムで収縮と拡張を繰り返す時に、微弱な電気が流れ、この電気の流れの変化を記録したものが心電図です。波形の変化をみて、不整脈や心筋梗塞などの心臓の病気を見つける手掛かりになります。
- 脳波検査—脳血管障害や外傷等による脳萎縮、脳梗塞などの脳器質的障害の程度、てんかんの鑑別などを目的に実施されます。

検査室（心理検査）



◀講義の様子



心理検査の様子▶

臨床心理士、公認心理師が心理検査を担当しています。認知症は記憶だけでなく、見当識や遂行機能、視覚認知、言語機能などさまざまな認知機能が障害されます。それらの機能のうち、どれがどの程度保持されているのか、また、障害されているのかを検査で見立てます。患者さんが日々の生活の中で何に気がつけたら良いのか、ご家族や介護施設スタッフの方々がどう対応したら良いのか、そして当院でどのような治療をしたらよいのかを考えるための一助となるように努めています。



薬局



現在、薬局では薬剤師1名、薬剤業務等補助職員1名が業務を行っています。外来患者様の処方箋が、「院外処方」に切り替わって以降は、主に、入院患者様のお薬の調剤および初めて当院で診察を受ける患者様が持参されたお薬に関わる様々な業務に携わっています。

「調剤業務」では、患者様一人ひとりのお薬を医師の処方箋に基づき、薬剤名・用法・用量等を確認し、処方内容が適切であると判断されれば、内服薬・外用薬・注射薬等の調剤を行っています。

また、調剤されたお薬の監査は「ダブルチェック」を行い間違いのない調剤を心がけています。

看護部



すこやかシルバー病院看護部には、看護師33名と介護福祉士12名が在籍しております。

看護部の理念に、【患者様の『今を大切に』ころころ温まる看護・介護を提供します】を掲げています。職員には、患者様に常に優しく、丁寧に接して欲しいと思っていますし、職員も理念を念頭に日々尽力しています。

認知症のケアは、時として忍耐力が必要です。職員が心身共に健康で仕事にやりがいを持ち、専門職として自分を高める努力を続けられるように手助けすることも、看護部長の役割の一つと考えています。リフレッシュ休暇、有給休暇を利用した長期の休暇や職場改善の折衝、長期研修の調整などを積極的に行っています。

また、毎週土曜日、認知症カフェ『心愛』を開催しております。認知症が軽度な方を中心に、楽しく笑って過ごせる場を目指しています。興味のある方は、病院にお問い合わせください。

東病棟



東病棟は現在看護師14名、介護福祉士6名計20名が所属しており認知症患者様の看護、介護に日夜取り組んでいます。スタッフ同士も気さくに話しあえる為、病棟内は常に明るいのが自慢です。また、患者様との関わりも大切にしており、普段の何気ない会話からレクリエーション活動まで幅広く力を入れて頑張っています。

【患者様と視線を合わせてのコミュニケーションを大切にし、患者様の表情や口調が常に穏やかでいられるように支援する】を東病棟の目標に掲げており、目標を達成できるよう患者様一人ひとりと向き合いながらスタッフ一同これから看護、介護に取り組んでいきます。

西病棟



西病棟は現在、看護師14人、介護福祉士6人が所属しています。

本年度、西病棟では【その人の現状を捉え、スタッフの価値観を押し付けないケアを目指す】を病棟目標としています。当院に入院するまでの経緯、これまでの生活、物事に対する価値観などは患者様によって様々であり、関わり方に絶対の正解はありません。また、その時々^{どこあ}の精神状態によって適切な対応も変わってくると思います。師長を中心にスタッフ一同、患者様一人ひとりが安全で安楽な入院生活を送ることができるようどの様なケアがより良いものなのか、常に考察できる病棟を目指し日々業務に取り組んでいます。

栄養管理室

2名の管理栄養士と10名の委託業者のスタッフと共に、業務を行っています。2019年度には栄養関係功労者として、厚生労働大臣表彰(特定給食施設部門)を受賞いたしました。

栄養管理室の日々の主な業務は、以下の通りです。

食事について

安全と美味しさをモットーにスタッフが丸となり食事提供に務めています。認知症特有の症状を踏まえ、特別な管理が必要とされる患者様には個別で対応させて頂いています。また、食事の楽しみを充実していただくことを目標に、行事食提供にも力を入れています。



敬老の日



節分

栄養ケアについて

入院当日に、ご本人または家族の方に食事や栄養面での意向を確認させていただいています。また、入院後は食事摂取状況や身体の状態を確認し、元気で健やかに過ごせるように病棟スタッフと情報交換を積極的に行っています。



★6月より、月1回の頻度で入院患者様・DC利用者様に向けてお便りを配布させていただいています。
特に、病棟の面会制限中は、患者様の食事摂取量や体重の増減等、個々の情報をお便りに盛り込み、家族の方々に安心していただけるよう心をこめて作成しています。



デイ・ケア つどい



デイ・ケアでは、ご自宅で過ごされている方に対し、医師の指示のもと、専門職(作業療法士、看護師、精神保健福祉士)が、生活リハビリ、脳活性化プログラムを行っています。体操や、手工芸、脳トレ等を行い、生活リズムを整え、利用される方々が馴染みの関係を築きながら、楽しいひと時を過ごして頂いています。

一日の流れ

★活動日

月曜日～金曜日

9:30～16:00

土日、祝日、

年末年始はお休みです。

- 9:30～ プログラム開始／バイタルチェック
- 10:15～ 集団体操、脳トレ、手工芸等
- 12:00～ 昼食、口腔ケア
- 13:30～ 集団体操、手工芸、ゲーム
- 15:15～ 茶話会
- 16:00 プログラム終了



作業療法室・地域連携室

作業療法室



作業療法室には現在2名の作業療法士が配属されており、東病棟と西病棟を各1名ずつ担当しています。

私たちは医師や看護師等の専門職とチームを組み、日常生活の作業を通して、心身の機能の維持・自尊心の充足・人々や社会とのつながりの回復を目的とした“心と体のリハビリテーション”を行っています。

入院生活の中でも、患者様一人ひとりがその人らしく、自信と誇りを持って生活する事ができるよう、認知症の状況に応じたリハビリテーションが実施できるよう取り組んでいます。



地域連携室



当院の地域連携室は、精神保健福祉士3名体制で業務を行っております。主な業務は、受診相談・初診時の予診（問診）・通院患者様やご家族の方への療養相談・ケアマネジャーの方との連携業務・入院患者様の今後の療養相談などがあります。

当院の連携室の特徴は、全員が精神保健福祉士であること、受診相談・外来通院・入院治療を通して担当の精神保健福祉士が変わらないことです。これらの特徴を活かし丁寧な療養相談と医療と介護保険サービスの架け橋になるよう努めています。

受診相談は、医療機関・ご家族の方からもの忘れの診断・治療・入院・緊急相談などがあります。このため、予約日時の調整だけではなく、患者様の症状や受診の目的などを確認していきます。予約制ではありますが、緊急度に応じて受診日時を検討させていただきます。

入院患者様の今後の療養相談にも力を入れています。ここ数年は在宅復帰される患者様も増えてきています。ご家族の方やケアマネジャーの方と何度も面談し課題を解決しながら退院までの調整を行っています。

これからの抱負ですが、これまで以上にご家族の方への支援に力を注いでいきたいと考えています。ご家族の方の抱えている悩みやストレス解消などは、患者様を支えることにもつながっていきます。コロナ禍の影響で活動には制約はありますが、ご家族の方を支援できるよう頑張っていきたいと考えています。

事務局



事務局は、事務部長をはじめ6名体制で日々の業務を行っております。

業務は総務医療グループとして、病院の管理運営に関する事や人事、総務、建

物の維持管理、また患者様の受診手続きおよび各種案内、診療費の算定及び保険請求等を行っております。

私たちスタッフは、笑顔と温かみのある対応で、来院される患者様たちが安心してご利用頂けるよう、話しやすい雰囲気作りを心掛けています。わからない事や、お困り事など、お気軽にお声かけください。

介護教育室

介護教育室では、「認知症」に関する知識の普及・啓発を進めることを目的とし、一般、医療・福祉施設の従事者の方などを対象に研修、講演会、講師派遣等を実施しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により研修等を中止することが多く残念に思っています。状況に応じて開催できるよう準備してまいりますので、開催の際は是非ご参加ください。お待ちしております。



当院辻真彰副看護師長による講義の様子

令和2年度【11月～】

福井県立すこやかシルバー病院研修案内

参加無料

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院（福井市島寺町93-6） 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の方のBPSDを理解する	11月2日(月)	13時30分～15時	・BPSDの症状 ・認知症ケアの基本 ・BPSDの原因を考える視点	福井県立すこやかシルバー病院 山口 泰宏看護師	20名
高齢者の運転免許更新の流れ	11月5日(木)	13時30分～15時	・運転免許更新に伴う高齢者講習について ・医療機関受診と診断書の記載について	福井県立すこやかシルバー病院 谷口 久良精神保健福祉士	20名
介護によるストレスを軽減するために	11月12日(木)	13時30分～15時	・ストレスについて ・ストレスにうまく対処する方法 ・ストレス解消の実践方法	福井県立すこやかシルバー病院 平木 聡深臨床心理士	20名
当院の食事提供について ～食べやすい食事の工夫～	11月13日(金)	13時30分～15時	・認知症高齢者への食事提供の工夫 ・当院での食事提供の実践について紹介	福井県立すこやかシルバー病院 田中 あゆみ管理栄養士	20名
認知症を予防するための基礎知識	11月19日(木)	13時30分～15時	・認知症の危険因子や脳を鍛える対策、脳を元気にする食事のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 久世 浩江管理栄養士 認知症予防専門士	20名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	11月20日(金)	13時30分～15時	・認知症の危険因子 ・脳を鍛える対策 ・心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 下口 さゆり作業療法士	20名
認知症の方の症状悪化の原因を考える	11月26日(木)	13時30分～15時	・認知症の方の原因疾患や進行に合わせたケア、悪化する前のきっかけ等	福井県立すこやかシルバー病院 帰山 知子看護師長	20名
認知症の基礎知識と対応のポイント	11月27日(金)	13時30分～15時	・認知症の原因疾患、症状について ・認知症の方への対応のヒント、対応の実例について	福井県立すこやかシルバー病院 田中 収看護師	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院（福井市島寺町93-6） 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
身体拘束廃止の課題と実践	12月22日(火)	14時30分～17時30分	・身体拘束とは ・適正化の推進とその背景 等	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川 悠貴氏	30名
認知症の方とのコミュニケーション	12月23日(水)	9時～12時	・認知症の方の特徴、心理状態 ・認知症の方とのコミュニケーションのポイント	東北福祉大学総合福祉学部 准教授 吉川 悠貴氏	30名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修は中止となる場合がございます。
その際はご連絡いたしますので、申し込み時に連絡先をお伝えください。